

2020年3月期 第1四半期 決算短信補足資料

2019年8月



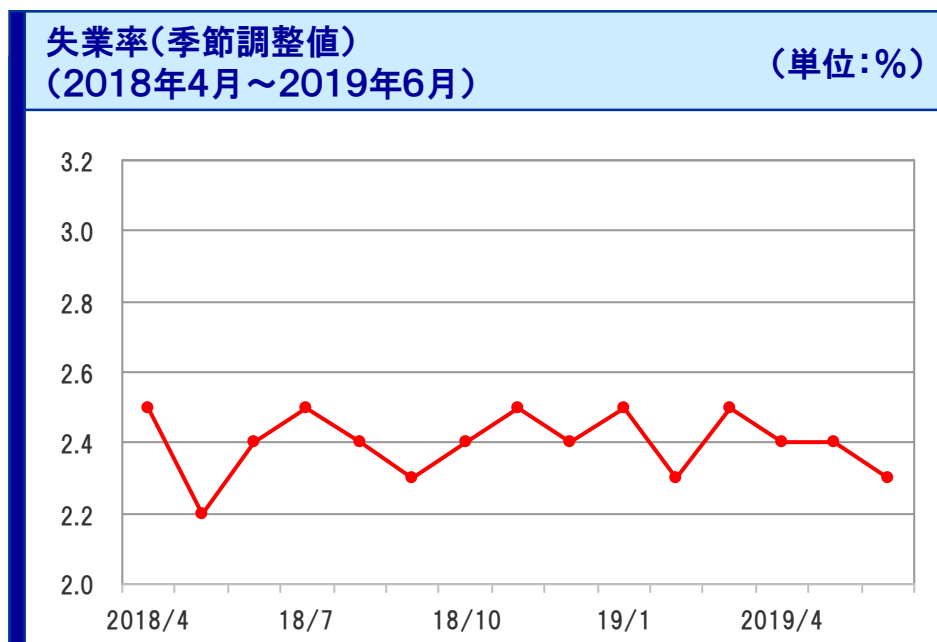
2020年3月期 第1四半期決算サマリー

- 政府の住宅取得支援策や住宅ローンの低金利環境が継続するなか、新設住宅着工戸数のうち持家・分譲住宅は前年同期並みで推移
- 新規提携については、第1四半期累計期間において信用組合1組合、JF(漁業協同組合)1組合と契約締結
- 保証債務残高が堅調に推移したことにより、営業収益、利益は順調に推移
- 営業費用(与信関連費用)は代位弁済の発生が低位で推移したことを主因として、計画を下回る

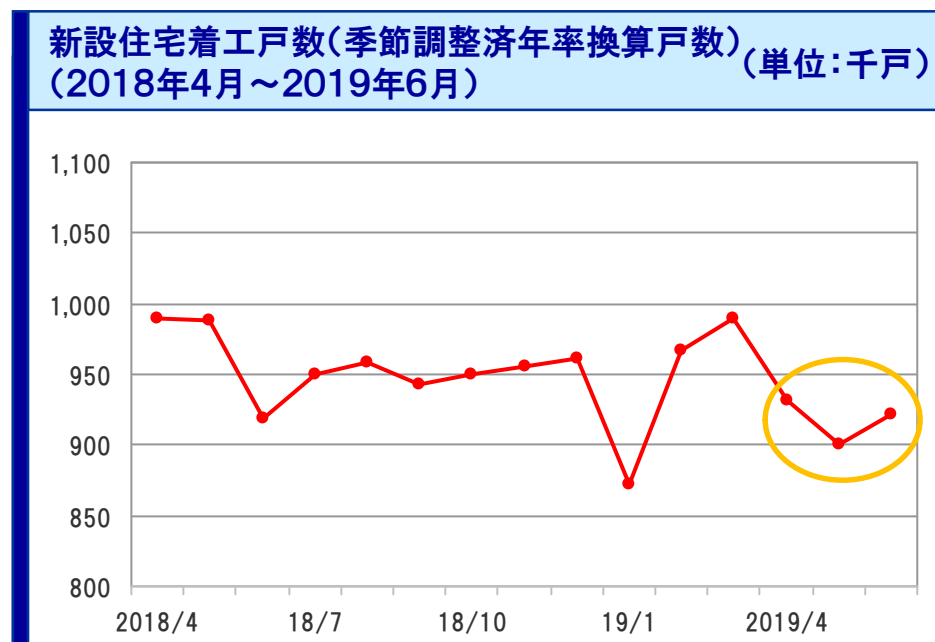
決算の概要

経済環境

- 通商問題などによる海外経済の不透明感が強まるなか、企業収益の改善に足踏みがみられたものの雇用と所得環境の改善や個人消費の持ち直しが続くなど、景気は緩やかな回復基調が継続
- 住宅市場については、政府の住宅取得支援策や住宅ローンの低金利環境が継続するなか、新設住宅着工戸数のうち持家・分譲住宅は前年同期並みで推移
- 住宅ローン市場については、新築・中古案件を獲得するため金融機関の金利競争が継続



出所:総務省 労働力調査

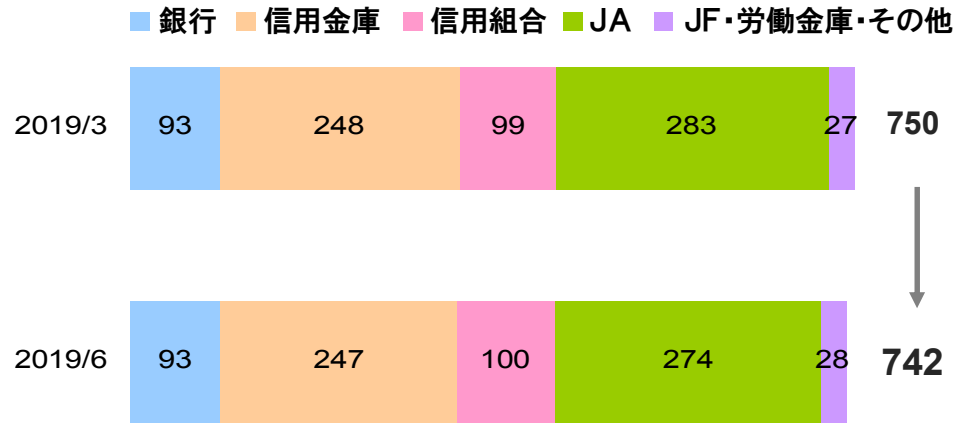


出所:国土交通省 住宅着工統計

金融機関との提携状況

業態別の提携金融機関数

(単位:機関)

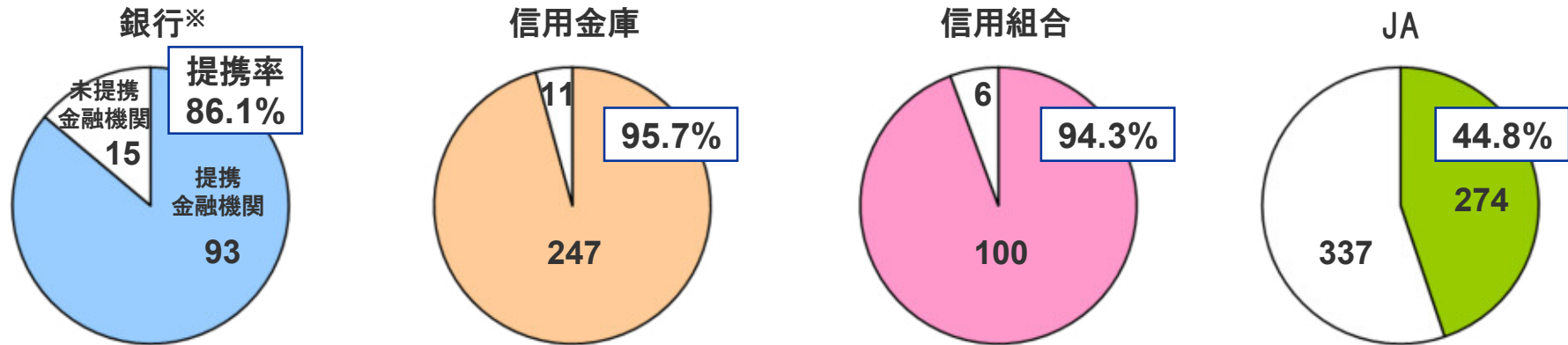


- 2020年3月期第1四半期累計期間において、信用組合1組合、JF1組合の合計2機関と契約締結一方、金融機関同士の合併などにより10機関が減少結果、提携金融機関数は742機関(前期末比▲8機関)

新規提携	合併等による減少	差引
2機関	10機関	▲8機関

業態別の提携シェア

(単位:機関)

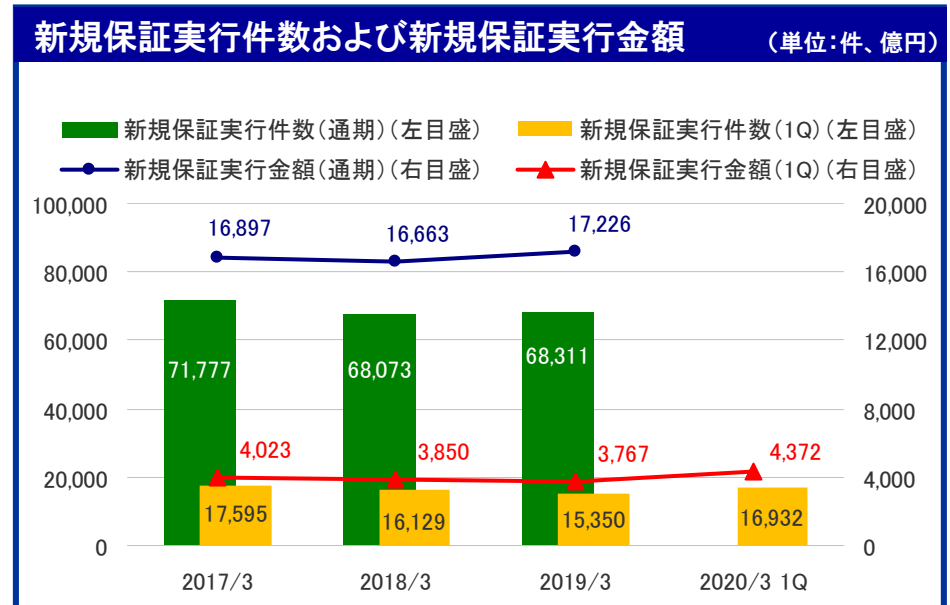


*銀行は地方銀行、第二地方銀行、三菱UFJ銀行、三井住友信託銀行、りそな銀行、埼玉りそな銀行、イオン銀行の合計

保証債務残高および新規保証実行の状況

2020年3月期計画	
保証債務残高	13兆5,370億円
新規保証実行件数	70,000件
代位弁済金額	12,650百万円
求償債権回収	9,500百万円

- 保証債務残高
新規保証実行件数および実行金額が順調に進捗したため計画通り増加
- 新規保証実行件数および新規保証実行金額
新規保証実行件数は新築・中古案件の増加により16,932件となった（前年同期比10.3%増）
新規保証実行金額は1件あたり単価の上昇もあり4,372億円となった（前年同期比16.1%増）

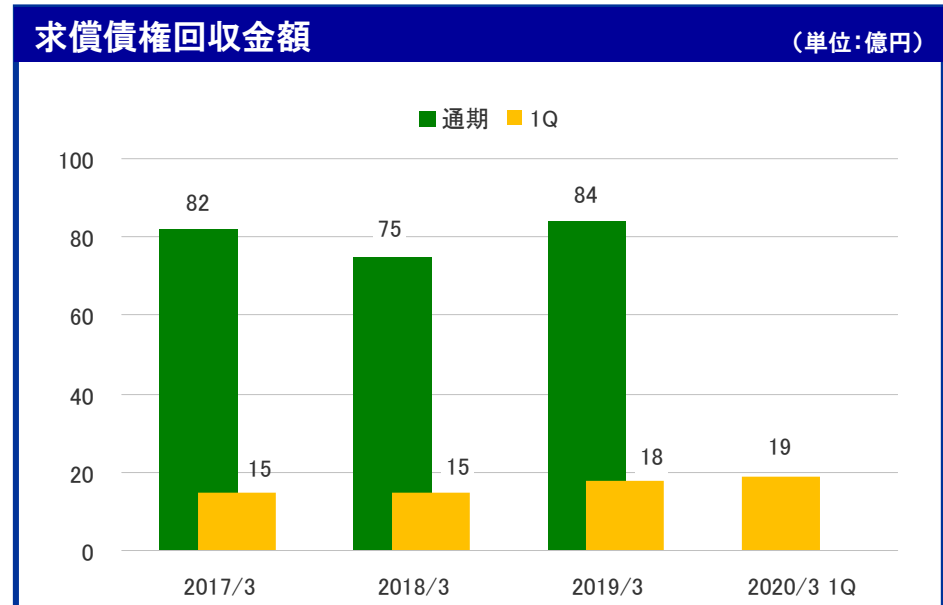
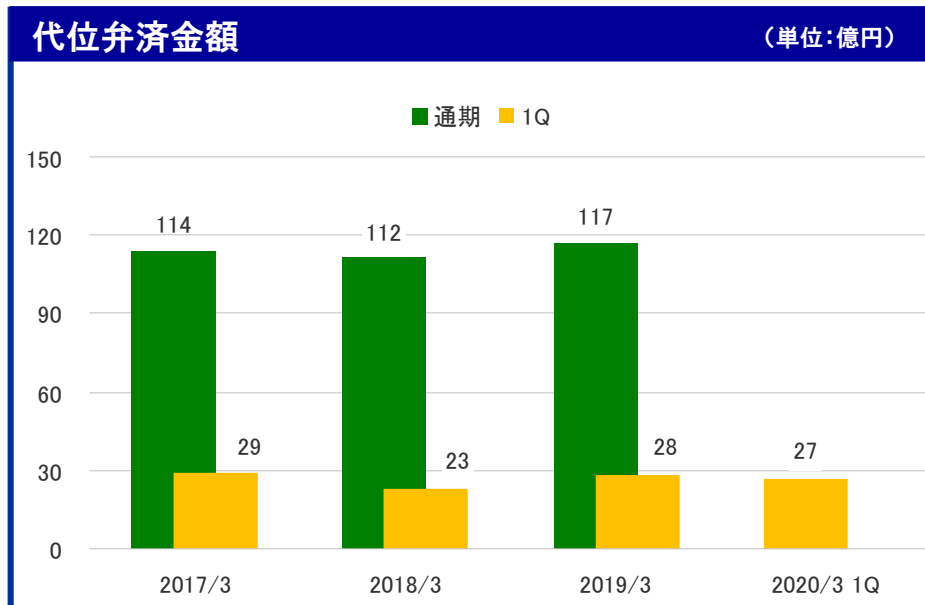


※ 当第1四半期会計期間の保証債務残高のうち、一部は推計値を使用

代位弁済金額および求償債権回収の状況

2020年3月期計画	
保証債務残高	13兆5,370億円
新規保証実行件数	70,000件
代位弁済金額	12,650百万円
求償債権回収	9,500百万円

- 代位弁済金額
保証債務残高が増加するなか代位弁済金額は低位で推移
- 求償債権回収金額
求償債権の回収金額は計画通り進捗



2020年3月期 第1四半期決算サマリー(P/L)

(単位:百万円)

	19/3期 第1四半期	20/3期 第1四半期	前年 同期比
営業収益	8,072	8,682	7.6%
営業費用	2,293	2,305	0.5%
うち与信関連費用	772	604	▲21.8%
債務保証損失引当金繰入額	926	672	▲27.4%
貸倒引当金繰入額	▲153	▲68	▲55.5%
うちその他	1,520	1,701	11.9%
営業利益	5,778	6,376	10.3%
経常利益	6,042	6,667	10.3%
特別損益	▲93	▲10	▲89.0%
四半期純利益	4,144	4,610	11.2%

ポイント

● 営業収益

保証債務残高が堅調に推移したことにより、営業収益は86億82百万円を計上。

● 営業費用

代位弁済の発生が低位に推移したことを主因として、与信関連費用は6億4百万円となった結果、営業費用は23億5百万円を計上。

● 四半期純利益

上記の状況により、四半期純利益は46億10百万円を計上。

2020年3月期 第1四半期決算サマリー(B/S)

	資産の部 (単位:百万円)		
	19/3期末	20/3期 第1四半期末	増減比
流動資産	188,741	168,399	▲10.8%
現金及び預金	175,742	154,875	▲11.9%
求償債権	12,266	13,078	6.6%
有価証券	6,334	6,430	1.5%
貸倒引当金	▲6,302	▲6,858	8.8%
固定資産	132,490	148,568	12.1%
投資その他の資産	131,671	147,770	12.2%
投資有価証券	107,649	123,953	15.1%
長期預金	19,000	19,000	0.0%
資産合計	321,232	316,967	▲1.3%

	負債の部 (単位:百万円)		
	19/3期末	20/3期 第1四半期末	増減比
流動負債	30,406	26,630	▲12.4%
前受収益	16,264	16,405	0.9%
債務保証損失引当金	6,453	6,501	0.8%
固定負債	163,826	164,979	0.7%
長期前受収益	163,767	164,904	0.7%
負債合計	194,233	191,610	▲1.4%
純資産の部			
株主資本	126,492	125,110	▲1.1%
評価・換算差額等	388	128	▲66.8%
純資産合計	126,998	125,357	▲1.3%
負債・純資産合計	321,232	316,967	▲1.3%

ポイント

- 資産
社債の購入により投資その他の資産が増加。
- 負債
保証債務残高の増加に伴い前受収益、長期前受収益が増加。

業績予想

(単位:百万円)

	19/3期	20/3期		前期比
		第2四半期 (累計)予想	通期予想	
営業収益	43,204	17,300	44,700	3.5%
営業費用	8,975	4,850	9,600	7.0%
うち与信関連費用	2,727	1,410	2,900	6.3%
債務保証損失引当金繰入額	3,034	1,660	3,400	12.1%
貸倒引当金繰入額	▲307	▲250	▲500	62.9%
うちその他	6,248	3,440	6,700	7.2%
営業利益	34,229	12,450	35,100	2.5%
経常利益	35,169	12,900	36,100	2.6%
当期純利益	24,134	8,900	24,950	3.4%

業績予想の前提	
保証債務残高	13兆5,370億円
新規保証実行件数	70,000件
代位弁済金額	12,650百万円
求償債権回収	9,500百万円

その他	
ROE	17.2%
配当金(1株当たり)	90円